



2020年10月21日

各 位

会 社 名 ポバール興業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 松井 孝敏
 (コード番号：4247 名証第二部)
 問合せ先 執行役員 黒田 英文
 (TEL 052-419-1827)

2021年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月14日に公表いたしました「2020年3月期決算短信」において、未定としておりました2021年3月期の業績予想及び配当予想を下記のとおりといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期連結業績予想の修正

(1)2021年3月期第2四半期累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	1,726	199	215	154	58.71
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	1,849	271	287	204	77.63

(2)2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	3,346	365	400	261	99.22
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	3,465	449	476	360	136.95

(注)当社は、2020年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割いたしました。

「1株当たり四半期純利益」及び「1株当たり当期純利益」については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

修正の理由

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、2020年5月下旬の緊急事態宣言解除後から直近までの運営状況を鑑み、業績予想を算定いたしましたのでお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により停止していた経済活動ですが、各国において経済活動を再開させ、国内でも自動車業界をはじめとした多くの業界で生産活動が回復しております。

当社におきましては、研磨関連の製品が底堅く推移したほか、自動車業界を中心に緩やかではありますが先送りされていた受注が戻りつつあります。しかしながら、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念もあり、本格的な回復は来期以降になると想定しております。このような状況の中、グループ全体で原価低減と経費節減に努めております。

以上より、連結業績予想を上記の通り修正するものであります。ただし、第3四半期以降の新型コロナウイルス感染症の影響を現時点で想定することが困難なため、変動する可能性があります。今後、感染症の拡大または収束により、事業活動に大きな影響を及ぼす場合には、速やかに業績見通しの修正開示を行います。

2. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年5月14日)	未定	未定	未定
今回修正予想	30円00銭	15円00銭	—
当期実績	—	—	—
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	25円00銭	30円00銭	55円00銭

(注) 当社は、2020年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割いたしました。2020年3月期及び2021年3月期の第2四半期末の配当につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2021年3月期の年間の配当予想につきましては、株式分割を行ったことにより単純計算ができないため、表示しておりません。なお、株式分割を考慮しない場合の期末配当予想は30円であり、年間配当予想は5円増配の60円であります。

修正の理由

当社は、将来の企業成長に必要な内部留保を確保しつつ、長期にわたり安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

上記の基本方針の下、当社グループの連結業績を勘案し、2021年3月期の1株当たりの配当予想につきましては、株式分割前に勘案した年間配当予想を5円増配の60円といたしました。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって上記の予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上